

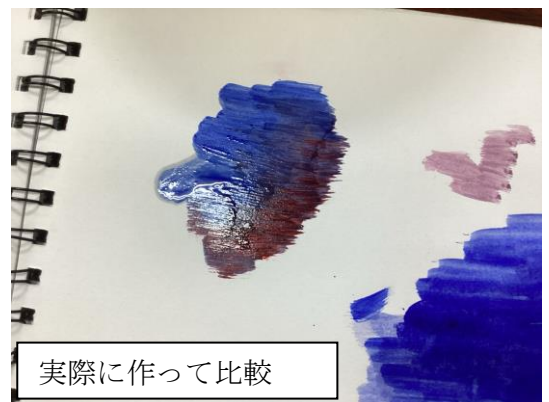
須坂高校 探究通信

総合的な探究の時間でフィールドワークが始まっています

本校では、2 学年は毎週月曜 6・7 時間目、3 学年は毎週月曜 7 時間目に総合的な探究の時間を行っています。2 学年では、それぞれの興味・関心により個人探究またはグループ探究で、自ら問いを立て、情報を収集し、分析して、新たな視点を手に入れる活動を行っています。各グループに 1 人、担当教員を配置し、毎週大学のゼミのように活動の進捗報告や今後の活動計画について話し合い活動します。今年度の 2 学年は夏休み中に「全グループ 1 フィールドワーク」（※フィールドワークとは、アンケート、インタビュー、実験、体験活動等自らの手足を使って情報を収集する活動のこと）を行い、積極的に外部と連携して、自らの考えを深めていっています。そこでこの通信を通して、本校生徒がどのようなフィールドワークを行っているか、を不定期でお伝えしていきます。

「画材の特徴を知る」：画材はなぜ変化していったのか？

月 24 日に私達は須坂高校の美術室で、油絵の具とテンペラ絵の具の違いについて調べるためのフィールドワークを行いました。フィールドワークを行った理由は、二つの絵の具を比べるためには、インターネットや本で文字を読むだけでなく実際に描いてみるのが大事だと考えたからです。「テンペラ」とは、12 - 13 世紀頃のイタリアで始まったと考えられている画材で、乳化作用をもつ物質を固着剤として利用するものです。テンペラ絵の具を卵黄やリンシードオイルなどを使って作るころから始めました。できたテンペラ絵の具と油絵の具を比べてみたところ、乾く時間や混ざり方等に様々な違いがありました。また、実験を行った後で改めて調べてみることで新たな発見もありました。この FW を通してテンペラ絵の具と油絵の具の違いがよく理解できたので、次はテンペラ絵の具や油絵の具だけではなく、他の画材についても調べてみたいと思っています。



←卵黄からテンペラ絵の具を作りました。

